

家具・装備品
製造業ものづくり一筋、心を込めて。
世界にひとつの商品を生み出す。
有限会社 シロタニ木工

有限会社 シロタニ木工

雲仙市小浜町北野739
TEL.0957-75-0230
FAX.0957-74-3427
http://www.shiro-tani.co.jp
✉ mokko@shiro-tani.co.jp
代表取締役/城谷雅司
設立日/1966年4月1日
資本金/5,000,000円
業種/家具・装備品製造業
従業員数/10名

オリジナルの木製家具・建具の製造、販売と、直接請負の住宅・店舗の新築・リフォーム工事の2事業を中心に展開。木造の技術の継承を第一に、「毎年新しい商品を1つ作る」「世の中にないオリジナル商品を作る」ことにこだわったものづくりに取り組んでいる。平成19年4月には、敷地内に木製家具ギャラリー「KO-SHA」を開設。デザイン性豊かな商品を幅広く紹介している。

補助事業の内容と成果

デジタル自動カンナ機の導入による
生産性アップ&魅力アップ
&売上アップ

事業のきっかけ

木製家具・建具の製造において、木を削る(カンナをかける)工程での作業効率の悪さ、品質のムラが目立っていた。また既存のカンナ機では幅450mmまでしか対応できなかったため、主流材料として使用している600mmの木の場合、300mmのものを2枚貼り合わせる工夫が必要で、廃材・ロスが多かった。

事業内容・成果

既存のカンナ機は一部アナログであったため、職人の感覚に頼る部分が多く、熟練と若手の職人では技術力の差が出てしまっていた。今回導入したデジタル自動カンナ機は、若手の職人でも簡単に操作ができ、誰がしても高品質のものができるようになった。木材の切削加工が改善されたことで、次の研磨の作業も時間短縮となり、品質も向上した。また新機械は600mm幅での対応が可能で、継ぎ目のない加工、廃材の発生抑制が可能となった上、以前は2人の職人を必要とした作業も1人で出来るようになった。

今回、機械をデジタル化したことで熟練者が若手に教えてもらうという状況が生まれ、手作業の技術は熟練者から若手へ、デジタル面は若手から熟練者へというように、職人同士の交流が増え、絆が深まったことも大きな成果であった。

今後の展望

作業時間の短縮、生産性の向上が可能になったので、今後は従業員の労働環境の改善に取り組んでいく。会社の利益を従業員に還元できるように努め、仕事とプライベートの両方が充実する体制を作ることで、雇用の獲得につなげていきたい。

ものづくり補助金活用

木を削る(カンナをかける作業)+研磨作業
600mm幅の場合製造時間 90分 ▶ **30分**作業時間の短縮に加え、品質のムラがなくなり、生産性が向上した。
デジタル化の導入により、職人間に良い和が生まれた。